

# T&Dダブルブル・ ベア・シリーズ5 (中国・ダブルベア5)

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式／特殊型（ブル・ベア型）	
信託期間	2016年9月8日から2018年9月10日まで	
運用方針	信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	<p>円建の外国投資信託「パッシム・トラスト - チャイナ 2x ベア・ファンド - クラスA証券」および親投資信託である「マネーアカウントマザーファンド」を主要投資対象とします。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。</p>	
	<p>パッシム・トラスト - チャイナ 2x ベア・ファンド - クラスA証券</p>	<p>主として円建の日本国債を投資対象とします。 JPモルガンチェースバンク N. A. ロンドン支店、またはJPモルガンチェースグループに属する金融機関をカウンターパーティとしたスワップ取引を行います。概ね純資産相当額程度で行うものとします。 スワップ取引を利用して、実質的に日々の基準価額の値動きが中国の株価指数であるハンセン中国企業株指数（H株指数）の日々の騰落率の概ね2倍程度反対となる投資成果を目指して運用を行います。</p>
	マネーアカウントマザーファンド	わが国の国債、公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
組入制限	<p>投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への直接投資は行いません。</p>	
	<p>パッシム・トラスト - チャイナ 2x ベア・ファンド - クラスA証券</p>	<p>店頭オプション、上場オプション、ETFに原則として直接投資は行いません。 有価証券の空売りは行いません。</p>
	マネーアカウントマザーファンド	株式への投資は行いません。 外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	<p>分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。</p>	

## 運用報告書（全体版）（満期償還） （償還日 2018年9月10日）

### お客様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「T&Dダブルブル・ベア・シリーズ5（中国・ダブルベア5）」は、信託約款の規定に基づき、2018年9月10日に信託期間を満了し償還となりましたので、運用経過と償還内容をご報告申し上げます。

これまでのご愛顧に対しまして、厚く御礼申し上げます。

**T&Dアセットマネジメント株式会社**

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

お問い合わせ先

投信営業部 03-6722-4810

（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

<http://www.tdasset.co.jp/>

## 設定以来の運用実績、基準価額の推移等

### 設定以来の運用実績

決算期	基準価額			債組入比率	債券先物比率	バッシ ョン・トラス ト・チャイナ 2x ベア・フア ンド クラ ス A 証 券 組 入 比 率	純資 産 額
	(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰 落 率				
設定日 2016年9月8日	円 10,000	円 —	% —	% —	% —	% —	百万円 1
1期 (2017年10月10日)	6,379	0	△36.2	—	—	94.0	570
償還日 2期 (2018年9月10日)	(償還価額) 5,836.68		△ 8.5	—	—	—	18

(注) 基準価額および分配金は1口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 設定日の基準価額および純資産総額には、当初元本を用いております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは、日々の基準価額の値動きが、対象とする国の株価指数の日々の値動きの概ね2倍程度反対となる投資成果を目指して運用を行います。したがって、たとえ正確に運用目標が達成されたとしても、2日以上離れた日との比較においては概ね2倍程度反対の投資成果が得られる訳ではないため比較が出来ないことから、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

### 当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額		債組入比率	債券先物比率	バッシ ョン・トラス ト・チャイナ 2x ベア・フア ンド クラ ス A 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率			
期首 (前期末) 2017年10月10日	円 6,379	% —	% —	% —	% 94.0
10月末	6,164	△ 3.4	—	—	94.0
11月末	6,114	△ 4.2	—	—	94.3
12月末	6,014	△ 5.7	—	—	93.9
2018年1月末	4,467	△30.0	—	—	94.2
2月末	4,884	△23.4	—	—	93.9
3月末	5,358	△16.0	—	—	94.1
4月末	5,348	△16.2	—	—	94.2
5月末	5,457	△14.5	—	—	94.3
6月末	6,182	△ 3.1	—	—	93.3
7月末	5,671	△11.1	—	—	92.5
8月末	5,713	△10.4	—	—	93.2
償還日 2018年9月10日	(償還価額) 5,836.68	△ 8.5	—	—	—

(注) 基準価額は1口当たり。騰落率は期首比。

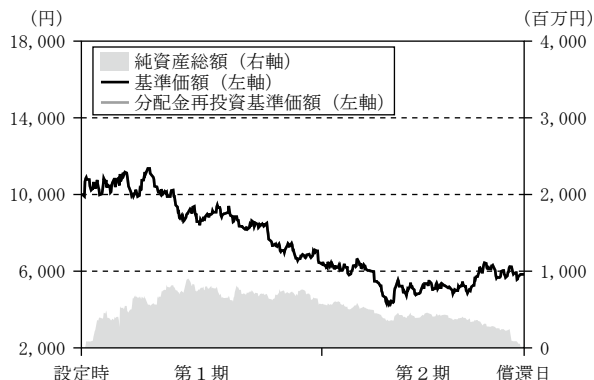
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは、日々の基準価額の値動きが、対象とする国の株価指数の日々の値動きの概ね2倍程度反対となる投資成果を目指して運用を行います。したがって、たとえ正確に運用目標が達成されたとしても、2日以上離れた日との比較においては概ね2倍程度反対の投資成果が得られる訳ではないため比較が出来ないことから、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

## 設定以来の運用経過

### ■ 基準価額等の推移



(注) 分配金再投資基準価額は、設定日（2016年9月8日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 設定日の基準価額および純資産総額には、当初元本を用いております。

### ■ 基準価額の主な変動要因

「パッシブ・トラスト - チャイナ 2x ベア・ファンド - クラスA証券」への投資を通じて、日々の基準価額の値動きが、中国の株価指数であるハンセン中国企業株指数（H株指数）の日々の騰落率の概ね2倍程度反対となる投資成果を目指して運用を行いました。ハンセン中国企業株指数が上昇した結果、基準価額（分配金再投資ベース）は下落しました。

### ■ 投資環境

#### 【中国株式市況】

#### 第1期（設定日～2017年10月10日）

期初から2016年12月末にかけては、中国政府によるインフラ投資拡大策を受け、一時的に上昇に転じる局面もありましたが、不動産融資規制の導入、米国の利上げ決定による新興国からの資金流出懸念や米大統領選挙をめぐる不透明感から軟調に推移しました。2017年1月から3月中旬にかけては、世界的な景気回復期待の高まり、FRB（米連邦準備制度理事会）の早期追加利上げ懸念の後退、資金流出懸念の緩和などから上昇に転じました。3月下旬から6月にかけては、北朝鮮やシリアなどの地政学リスクの高まり、仏大統領選挙の不透明感などから下落する局面もありましたが、中国本土の金融引締めにより、香港市場への資金流入が加速したことや

#### ハンセン中国企業株指数（H株指数）の推移



【出所：Bloomberg】

中国の良好な経済統計を受け、堅調に推移しました。7月から8月にかけては、地政学リスクへの警戒感から一時急落しましたが、米国の株高基調や中国の国有企業改革の進展期待から上昇しました。9月から期末にかけては、経済指標の悪化や地方都市での住宅購入規制の発表、米国の信用格付会社による格下げを受け、軟調な展開が続きましたが、中国人民銀行の預金準備率引下げ実施により上昇に転じました。

#### 第2期（2017年10月11日～償還日）

期初から2017年12月下旬にかけては、中国政府による金融監督規制強化、資金供給の縮小、経済指標の軟化を受け、一進一退の動きが続きました。2018年1月は、世界的な株高や原油価格の上昇、中国人民銀行による期間限定の預金準備率引下げ、好調な経済統計を背景に大幅に上昇しました。2月上旬から5月下旬にかけては、米国株の急落や株式担保融資規制強化などを巡る混乱から大幅に下落した後、北朝鮮情勢や米中貿易摩擦懸念を背景に値の荒い展開が続きました。6月上旬から期末にかけては、米中貿易摩擦懸念の高まりや中国景気減速懸念から大幅に下落し、その後もトルコリラの急落などを背景に軟調な推移となりました。

#### **【国内短期金融市況】**

#### 第1期（設定日～2017年10月10日）

国庫短期証券3ヵ月物利回りは上昇しました。日銀による「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」などの短期金利を低位に抑える金融政策が継続しましたが、日銀の国庫短期証券買入オペ動向に対する不透明感の高まりなどから利回りは上昇し、期首の $\Delta 0.28\%$ から期末は $\Delta 0.17\%$ となりました。

#### 第2期（2017年10月11日～償還日）

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期首の $\Delta 0.17\%$ から期末は $\Delta 0.13\%$ となりました。期中においては、海外勢による需要の高まりなどが金利低下要因となり、需給悪化懸念や日銀の国庫短期証券買入オペ動向を巡る不透明感などが金利上昇要因となりました。

### **■ 当該投資信託のポートフォリオ**

#### **【当ファンド】**

信託期間を通じて、「パッシブ・トラスト - チャイナ 2x ベア・ファンド - クラスA証券」を高位に組み入れました。組入比率は、追加設定・解約や組入投資信託証券の価格の変動による運用資産の増減はありましたが、概ね高位で推移しました。残りの資産につきましては、「マネーアカウントマザーファンド」およびコールローン等で運用を行いました。満期償還に伴い、2018年9月初めに「パッシブ・トラスト - チャイナ 2x ベア・ファンド - クラスA証券」および「マネーアカウントマザーファンド」を売却し、償還日までコールローン等による安定運用を行いました。

## 【パッシム・トラスト - チャイナ 2x ベア・ファンド - クラスA証券】

主として日本国債等の現物資産へ投資する一方で、J Pモルガンチェースバンク N. A.などを相手方とするスワップ取引（元本交換を伴わない）を高位に組入れ、実質的に日々の基準価額の値動きが、中国の株価指数であるハンセン中国企業株指数（H株指数）の日々の騰落率の概ね2倍程度反対となる投資成果を目指して運用を行いました。

## 【マネーアカウントマザーファンド】

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、信託期間を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

## ■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

### 1口当たりの費用明細（2017年10月11日から2018年9月10日まで）

#### 費用の明細

項目	当期		項目の概要
	2017/10/11～2018/9/10 金額	比率	
平均基準価額	5,579円		期中の平均基準価額です。
(a) 信託報酬 （投信会社） （販売会社） （受託会社）	46円 ( 22) ( 22) ( 2)	0.833% (0.397) (0.396) (0.040)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用 （監査費用） （その他）	1 ( 1) ( 0)	0.016 (0.016) (0.000)	(b) その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託に係る手数料
合計	47	0.849	

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 「比率」欄は1口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

売買および取引の状況 (2017年10月11日から2018年9月10日まで)

(1) 投資信託証券

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国 (邦貨建)	パッシム・トラスト - チャイナ 2x ベア・ファンド - クラスA証券	口 33,450	千円 184,851	口 120,200	千円 673,753

(注) 金額は受渡代金。単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
マネーアカウントマザーファンド	千口 -	千円 -	千口 19	千円 19

(注) 単位未満は切捨て。

利害関係人との取引状況等 (2017年10月11日から2018年9月10日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

自社による当ファンドの設定・解約状況 (2017年10月11日から2018年9月10日まで)

期首残高 (元本)	当期設定元本	当期解約元本	償還時残高 (元本)	取 引 の 理 由
千円 -	千円 1,710	千円 -	千円 1,710	商品性を適正に維持するための取得

(注) 単位未満は切捨て。

組入資産の明細 (2018年9月10日現在)

償還時における組入れはありません。

## 投資信託財産の構成 (2018年9月10日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	19,956	100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	19,956	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## 資産、負債、元本および償還価額ならびに損益の状況

### 資産、負債、元本および償還価額の状況

2018年9月10日現在

項 目	償 還 時
(A) 資 産	19,956,660円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	19,956,660
(B) 負 債	1,530,255
未 払 解 約 金	349,140
未 払 信 託 報 酬	1,159,035
未 払 利 息	40
そ の 他 未 払 費 用	22,040
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	18,426,405
元 本	31,570,000
償 還 差 損 益 金	△13,143,595
(D) 受 益 権 総 口 数	3,157口
1 口 当 たり 償 還 価 額 (C / D)	5,836円68銭

(注) 期首元本額 894,780,000円  
 期中追加設定元本額 352,980,000円  
 期中一部解約元本額 1,216,190,000円

(注) 元本の欠損  
 償還時現在、純資産総額は元本を下回っており、その差額は13,143,595円です。

(注) 1口当たり純資産額は5,836.68円です。

### 損益の状況

当期 自2017年10月11日 至2018年9月10日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 1,329円
支 払 利 息	△ 1,329
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	2,511,792
売 買 益	15,292,603
売 買 損	△12,780,811
(C) 信 託 報 酬 等	△ 3,384,749
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 874,286
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 4,172,296
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 8,097,013
(配 当 等 相 当 額)	(△ 2,340)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 8,094,673)
償 還 差 損 益 金 (D + E + F)	△13,143,595

(注) 損益の状況の中で

(C) 信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

## 投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2016年9月8日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2018年9月10日		資産総額	19,956,660円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減又は追加信託	負債総額	1,530,255円
				純資産総額	18,426,405円
受益権口数	110口	3,157口	3,047口	受益権口数	3,157口
元本額	1,100,000円	31,570,000円	30,470,000円	1口当たり償還金	5,836.68円
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1口当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	894,780,000円	570,791,135円	6,379円	0円	0.0000%

### 償還金のご案内

1口（元本10,000円）当たり償還金（税込み）	5,836円68銭
--------------------------	-----------

### 補足情報

マネーアカウントマザーファンドにおける主要な売買銘柄

当期における売買はありません。



組入投資信託証券の内容

パッシム・トラスト - チャイナ 2x ベア・ファンド - クラスA証券

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

分 類	ケイマン籍／外国投資信託／円建
運用の基本方針 主な投資対象	主として円建の日本国債およびスワップ取引に投資を行い、安定的なインカム収益の獲得と信託財産の成長を目指して運用を行います。 主として円建の日本国債を投資対象とします。 スワップ取引等のデリバティブの利用はヘッジ目的に限定しません。
投資態度	①主として円建の日本国債を投資対象とします。 ②J PモルガンチェースバンクN. A. ロンドン支店、またはJ Pモルガンチェースグループに属する金融機関をカウンターパーティとしたスワップ取引を行います。概ね純資産相当額程度で行うものとします。 ③スワップ取引を利用して、実質的に日々の基準価額の値動きが以下の通りとなる投資成果を目指して運用を行います。  【チャイナ 2x ベア・ファンド - クラスA証券】 中国の株価指数であるハンセン中国企業株指数（H株指数）の日々の騰落率の概ね2倍程度反対  資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。
主な投資制限	①店頭オプション、上場オプション、ETFに原則として直接投資を行いません。 ②有価証券の空売りは行いません。 ③純資産総額の10%を超える借入れは行いません。 ④一発行会社の発行済株式総数の50%を超えて、当該発行会社の株式に投資しません。 ⑤流動性にかかる資産の組入れは15%以下とします。 ⑥運用会社および管理会社は、自己または投資信託受益証券以外の第三者の利益を図る目的で行う取引等は行いません。
決 算 日	6月30日
分 配 方 針	原則として、年1回分配を行います。
投資顧問会社 管 理 会 社	J. P. モルガン・マンサール・マネジメント・リミテッド

※次ページ以降の記載は、J Pモルガン証券株式会社より入手した情報をもとに作成しております。(1)は監査済報告書を当社が一部和訳したもの、(2)は保有明細をもとに当社が作成したものです。当社は、その内容の正確性・完全性を保証するものではありません。

※「パッシム・トラスト - チャイナ 2x ベア・ファンド - クラスA証券」は、円建ての外国投資信託「パッシム・トラスト」のサブファンドです。以下は、「パッシム・トラスト - チャイナ 2x ベア・ファンド」の状況です。

パッシム・トラスト - チャイナ 2x ベア・ファンド

(1) 損益計算書

計算期間：2016年7月1日～2017年6月30日

単位：千円

<b>収益</b>	
投資に係る実現損益	(346,794)
受取利息 (アモチゼーションによるものを含む)	( 891)
<b>収益合計</b>	<b>(347,685)</b>
<b>費用</b>	
管理報酬	2,016
監査費用	493
保管費用	654
投資運用会社報酬	( 2,571)
当初設立費用	125
取引費用	1,120
受託手数料	252
弁護士報酬	369
その他費用	835
<b>運用費用合計</b>	<b>3,293</b>
税引前損益	(350,978)
源泉徴収税	( 72)
<b>運用による純資産増減額</b>	<b>(351,050)</b>

(注) 日付は現地基準です。

(注) ( ) 書きは負数です。

(注) 「パッシム・トラスト - チャイナ 2x ベア・ファンド」における「クラスA証券」の期末の持分比率は100%です。なお、持分比率は監査済報告書の情報をもとに当社が算出したものです。

(2) 組入資産の明細

作成基準日：2017年6月30日

債券現物

単位：円

銘柄名	利率	償還日	額面	評価額
第354回利付国債 (2年)	0.1%	2017/7/15	110,000,000	110,007,700
第356回利付国債 (2年)	0.1	2017/9/15	100,000,000	100,043,000
第358回利付国債 (2年)	0.1	2017/11/15	100,000,000	100,084,000
第108回利付国債 (5年)	0.1	2017/12/20	70,000,000	70,074,200
<b>合計</b>				<b>380,208,900</b>

スワップ

単位：円

想定元本額	評価額
1,152,890,000	(6,214,105)

(注) 日付は現地基準です。

(注) ( ) 書きは負数です。

## マネーアカウントマザーファンド

運用報告書（全体版） 第17期（決算日 2018年6月11日）  
（計算期間 2017年12月12日から2018年6月11日まで）

「マネーアカウントマザーファンド」は、2018年6月11日に第17期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は原則無期限です。
運用方針	安定した収益の確保を目標として運用を行います。
主要運用対象	わが国の国債、公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。

### 最近5期の運用実績、基準価額の推移等

#### 最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	純資産総額
	円	騰落率					
13期（2016年6月10日）	10,037	△0.0	—	—	—	—	百万円 1,019
14期（2016年12月12日）	10,033	△0.0	—	—	—	—	1,383
15期（2017年6月12日）	10,029	△0.0	—	—	—	—	922
16期（2017年12月11日）	10,026	△0.0	—	—	—	—	601
17期（2018年6月11日）	10,022	△0.0	—	—	—	—	490

(注) 基準価額は1万口当たり。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

## 当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額 騰 落 率	債券組入比率	債券先物比率
期首 (前期末)	円	%	%
2017年12月11日	10,026	—	—
12月末	10,026	0.0	—
2018年1月1日	10,025	△0.0	—
2月末	10,024	△0.0	—
3月末	10,024	△0.0	—
4月末	10,023	△0.0	—
5月末	10,023	△0.0	—
期 末 2018年6月11日	10,022	△0.0	—

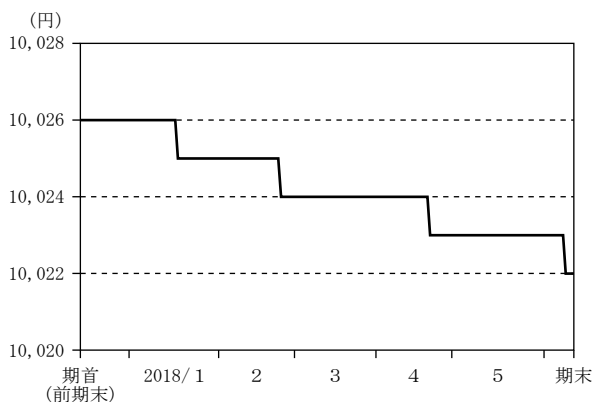
(注) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

## 当期の運用状況と今後の運用方針

### ■ 基準価額の推移



### ■ 基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首の10,026円から期末は10,022円となりました。運用対象であるコールローン等の利回りがマイナスで推移したことから、下落となりました。

## ■ 投資環境

### 【国内短期金融市場】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期首の $\Delta 0.17\%$ から期末は $\Delta 0.13\%$ となりました。海外勢による需要の高まりなどから金利が低下する局面もありましたが、需給悪化懸念や日銀の国庫短期証券買入オペ動向を巡る不透明感などを背景に金利は上昇しました。

## ■ 当該投資信託のポートフォリオ

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

## ■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

## ■ 今後の運用方針

足許における比較的堅調な国内外の景気動向などを背景に、日本のインフレ率は上向いていくと予想しますが、依然、基調的なインフレ圧力は弱く、インフレ期待が急速に高まる可能性は低いとみられます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内短期金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、短期国債や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1 万口当たりの費用明細 (2017年12月12日から2018年6月11日まで)

費用の明細

項目	当期	
	2017/12/12～2018/6/11	
	金額	比率
平均基準価額	10,024円	
その他費用 (その他)	0円 ( 0)	0.000% (0.000)
合計	0	0.000

(注) 費用項目につきましては前述の「1口当たりの費用明細」をご参照ください。

売買および取引の状況 (2017年12月12日から2018年6月11日まで)

当期における売買はありません。

利害関係人との取引状況等 (2017年12月12日から2018年6月11日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2018年6月11日現在)

当期末における組入れはありません。

投資信託財産の構成 (2018年6月11日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	490,458	100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	490,458	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## 資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

### 資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年6月11日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	490,458,962円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	490,458,962
(B) 負 債	979
未 払 利 息	979
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	490,457,983
元 本	489,360,171
次 期 繰 越 損 益 金	1,097,812
(D) 受 益 権 総 口 数	489,360,171口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,022円

(注) 期首元本額 599,480,283円  
 期中追加設定元本額 898,547,805円  
 期中一部解約元本額 1,008,667,917円

(注) 1口当たり純資産額は1.0022円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本の内訳

T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)円ヘッジ・コース	39,605,980円
T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)米ドル・コース	5,288,049円
T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)米ドルベア・コース	700,897円
T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)ユーロ・コース	154,330円
T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)ユーロベア・コース	1,493,257円
T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)豪ドル・コース	28,925,972円
T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)豪ドルベア・コース	90,968円
T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)リアル・コース	11,076,291円
T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)インドネシアリアル・コース	306,920円
T&D Jリートファンド限定追加型1402	488,474円
リビング・アース戦略ファンド(年2回決算コース)	99,632円
リビング・アース戦略ファンド(年4回決算コース)	99,632円
T&Dダブル・ベア・シリーズ5(インド・ダブル5)	19,931円
T&Dダブル・ベア・シリーズ5(インド・ダブルベア5)	19,931円
T&Dダブル・ベア・シリーズ5(中国・ダブル5)	19,931円
T&Dダブル・ベア・シリーズ5(中国・ダブルベア5)	19,931円
T&Dダブル・ベア・シリーズ5(リアル・ダブル5)	19,931円
T&Dダブル・ベア・シリーズ5(リアル・ダブルベア5)	19,931円
T&Dダブル・ベア・シリーズ5(金・ダブル5)	19,931円
T&Dダブル・ベア・シリーズ5(金・ダブルベア5)	19,931円
T&Dダブル・ベア・シリーズ5(マネーボール5)	400,111,982円
T&Dダブル・ベア・シリーズ6(インド・ダブル6)	19,957円
T&Dダブル・ベア・シリーズ6(インド・ダブルベア6)	19,957円
T&Dダブル・ベア・シリーズ6(中国・ダブル6)	19,957円
T&Dダブル・ベア・シリーズ6(中国・ダブルベア6)	19,957円
T&Dダブル・ベア・シリーズ6(リアル・ダブル6)	19,957円
T&Dダブル・ベア・シリーズ6(リアル・ダブルベア6)	19,957円
T&Dダブル・ベア・シリーズ6(金・ダブル6)	19,957円
T&Dダブル・ベア・シリーズ6(金・ダブルベア6)	19,957円
T&Dダブル・ベア・シリーズ6(マネーボール6)	598,683円

### 損益の状況

当期 自2017年12月12日 至2018年6月11日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 188,639円
支 払 利 息	△ 188,639
(B) そ の 他 費 用	△ 146
(C) 当 期 損 益 金 (A+B)	△ 188,785
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	1,564,369
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	2,212,195
(F) 解 約 差 損 益 金	△2,489,967
(G) 合 計 (C+D+E+F)	1,097,812
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	1,097,812

(注) 損益の状況の中で

(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(F)解約差損益金とあるのは、一部解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。